

<p>事業名</p>	<p>静岡大学のスポーツ資源を活かした静岡市共創社会構想プロジェクト～大谷・小鹿地区を中心として～</p>
<p>事業概要</p>	<p>静岡大学が持つ優位なスポーツ資源（人的・物的・知的）を活かしながら、スポーツの「プレー」「ミーティング」「マネジメント」の三位一体化事業を図り、ウエルネス・モビリティ・クリーンエネルギーの視点を加味したまちづくり（共創社会）の仕組みをコーディネートすることである。大学の所在地である「大谷・小鹿地区」を主な対象地域とし、大学、地域双方の資源を有機的に連携させながらプログラム活動を共創する。具体的には、ジュニア層に対するスポーツ教室、運動部活動の地域移行を見据えた新規種目のクリニック、子供と成人と一緒に学び合えるニュースポーツの提供、まちづくり×スポーツ問題の共有化を図る座談会の開催、プロスポーツホームゲームの共同運営経験の提供などである。</p>

■対象地域の課題

主な対象地域となる大谷・小鹿地区は、静岡市の中でもまちづくりの重要地区として認識が高まっているが、産業開発が著しい一方で、文化向上を示す「ウエルネス」の観点で問題点を抱えている。当地区住民による協議会においては特に、「異世代交流の必要」と「人と人の繋がりとなる健康の在り方」が示された。そこで、スポーツを起爆剤にしたまちづくりが期待されている。そのスポーツ政策の課題には、①子供の外遊びの貧困化、②中学校部活動種目数の限定、③成人スポーツプログラムの単調化、④市民スポーツ広場の未活用、⑤ホームタウンチームへの無関心、が挙げられている。

■活用する大学スポーツ資源

- ・グローバル共創科学部および地域創造学環に所属する教員
当ユニット担当のスポーツ科学研究者、他学部のスポーツ科学研究者、異分野専門の研究者（倫理学・心理学・情報科学等）
- ・グローバル共創科学部生および地域創造学環生
当ユニットにおいてスポーツ科学を専攻する学生
- ・静岡キャンパスの体育会部活動に所属する学生
静岡キャンパスにある41の運動部活動所属生
- ・静岡キャンパスの人工芝グラウンドおよびアリーナ等のスポーツ施設
人工芝グラウンド、野球場、陸上競技場、屋外50メートルプール、アリーナ、テニスコート、多目的コート、傾斜豊かな広大な自然環境
- ・これまで培ったスポーツ事業経験やネットワーク（スポーツナレッジ）

■期待される事業効果

- ・子供たちのスポーツ活動継続意欲率の向上
- ・成人（特にビジネスパーソンや女性）のスポーツ実施率向上
- ・スポーツボランティアの参画率の向上
- ・地域への愛着や地元活動への参加率の向上
- ・関係団体相互の連携頻度や共同事業数の増加

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）

